

ムジークフェストなら 2020年度第2回実行委員会(10月2日)概要(速報)

- 日 時:令和2年 10月2日(金) 14:00~15:10
- 場 所:奈良県コンベンションセンター201会議室
- 出席者:別紙名簿のとおり

●概要

- ・開会に先立ち、荒井会長から挨拶。
- ・事務局より出席委員を紹介。実行委員会会則に基づき、代理出席も含めた出席委員数が、委員の現在数の過半数であることから、本日の実行委員会は、議事の審議に必要な定足数を満たしており、有効に成立していることを報告。
- ・配付資料の確認後、荒井会長を議長に選出。
- ・議長の司会進行に基づき、事務局から

【議題】議案ムジークフェストなら2021事業計画について説明。

委員による意見交換・質疑応答後、議案について原案どおり採決し、承認を得た。

【議事録】

1. 冒頭会長(知事)挨拶

- ・ムジークフェストなら2020は中止となってしまったが、次に向けてムジークフェストなら2021の企画を皆様の意見を伺いながら進めていきたいと思っている。
- ・今回の議案の最大の特徴は春日野園地で実施していたムジーク・プラッツをコンベンションセンターに移すことであり、ムジークフェストの今後を決めるものとなる。

2. 事務局より議案の説明

3. 委員質疑等

【議長(荒井知事)】

- ・事務局から説明があったが現時点の案であり、最終のものではないため議論いただきたい。
- ・本日、承認いただきたいのはカレンダーである。その他の計画については意見をいただいて内容を詰めていきたいと思う。
- ・従来のムジークフェストと違うことは春日野園地で実施していたムジーク・プラッツをコンベンションセンターに移した点。県内には、バスターミナルやコンベンションセンターなど全天候型の施設が出来てきているので活用したい。
- ・感染症対策については、コロナウイルスの情勢を参考に直前まで対応を詰めていきたい。
- ・ムジーク・プラッツについては、3つの企画をコンベンションセンターで、1つをシダーアリーナで実施するという点。

- ・公演を実施することは、コロナの影響でアーティストの仕事がないことの救済の意味合いもある。
- ・コンベンションセンターで一体的に公演を実施することにより、イベントの中心地ができ、ラ・フォル・ジュルネのような有料公演と無料公演の組み合わせのような仕組みもできる。
- ・動画配信については進めていきたい。コロナの状況により、若者が集まって騒ぐことは難しいかもしれないので、引き続き検討したい。

【委員】

- ・幅広い年代に対応できる企画だと思う。土日は子ども連れが多いので、東映アニメのキャラクターを公演に使うなど子どもや家族が楽しめる企画を実施してほしい。

【議長】

- ・これまで、NHKの協力でワンワンの公演を実施しているが、平日の夕方に実施するなど企画を拡大することも考えられる。家族連れをメインターゲットにするという提案だと理解した。

【委員】

- ・若年層へのPRは重要であるが、若年層がどのようなことに興味を持っているか推測しながら進めていく必要がある。
- ・若年層に受け入れられる企画にするとこれまで来てくれているリピーターには受け入れられないかもしれないが、挑戦することはいいことである。

【議長】

- ・ムジークに行ったついでに美術館なども行くという一連の捉え方がよい。ムジークに参加した後に社寺にも行ってほしいし、そのように仕組みができれば、ムジークというイベントのPRが奈良県全体のPRにもなっていく。

【委員】

- ・コンベンションセンターでの企画について、NHKと関連したイベントはできるのではないかとと思う。天平ホール等での公演アーティストが出演した番組があれば、NHKのロビーにある8Kモニターに映すことも権利関係などを整理すれば可能である。
- ・ラ・フォル・ジュルネは公演後にネットラジオが演奏やアーティストインタビューを放送しているので、ならどっとFMなどがサテライトスタジオを特設してインタビューなどをすれば、公演との一体感がでるのではないかと。

【議長】

- ・コンベンションセンターでの企画ではNHKも一体となって取組んでほしい。マリOTTホテル

もあるので、例えば、昼にコンベンションセンターで公演した後、ホテルでディナーコンサートを実施するなどできるかもしれない。

【委員】

- ・ コンベンションセンターを最大限活用し、賑わいを創れるように努力したい。また、動画配信についても積極的に実施したい。

【議長】

- ・ 言葉どおりにできるように頑張ってほしい。

【委員】

- ・ 天平広場は非常にいい施設で使ってみたいと思った。コロナ次第ではあるが、バザールのような、いろいろな店が出て、食べて、遊んで、楽しむようなイメージが見える。
- ・ 周辺住民などへも配慮しながら実施してほしい。

【議長】

- ・ アイデアは煮詰まっていないが、考える方向性は同じである。中央卸売市場では、イーターリを実施する予定をしているが、ムジークはドイツなのでオクトーバーフェストのようなお祭りができるのではないか。

【委員】

- ・ 先ほど知事がアーティスト救済ということをおっしゃっていたが、「奈良県出身アーティストの日」というのを是非考えてほしい。
- ・ 「いまならキャンペーン」のおかげで、奈良県内在住者の宿泊割合が1%から14%までに上昇した。人の移動が消費を生むので、ムジークフェストの期間中に、宿泊につながる企画を考えてほしい。

【議長】

- ・ 地元への宿泊と飲食で、長期間の滞在につなげたい。
- ・ 先日開催された「なら国際映画祭」では、映画監督や出演者が来県し、県内のホテルに滞在したと聞いた。そのような人々から奈良への好感度を増したい。宿泊業界とともにやっていければ。
- ・ ムジークがあるときは、家族で泊まりでも過ごしてもらえるようなイベントがあればよい。

【委員】

- ・ 旅行業界では、最近「マイクロツーリズム」という言葉がよく使われるが、近場にいるお客様を

大事にするという視点が必要。

- ・ 若年層へのアプローチを図るのであれば、県内在住の人々や、近畿圏内在住の人々へのアプローチが必要だと考える。

【議長】

- ・ イベントの開催により、周りが潤うようにすることが必要。イベントに付加価値を付け、業界横断的なスタイルの取組を検討してもらいたい。

【委員】

- ・ 今年度のミュージックフェスは、残念ながら中止となったが、奈良県民や関西圏の人々は開催を待ち望んでいたと思う。そのように、開催の期待感をいただいている人々に対し、ミュージックフェスがグレードアップしていることをプロモーションし、食らいついてもらえるよう、大々的に知らしめてはどうか。
- ・ また、今はコロナが終息するまで難しいかもしれないが、海外のインフルエンサーを起用するなど、海外に対するアプローチも、中期的な視点では必要であると思う。

【議長】

- ・ コロナの状況は変化していくが、直前まで工夫をしていく必要がある。

【委員】

- ・ 海外に向けた発信が今後必要だと思う。外国人の方にインフルエンサーになってもらい、海外に向けて奈良のPRを実施することで、海外からもお客様が来てもらえるようにできればよいのではないかな。
- ・ インターネット広告やファンクラブなどの取組が計画案に書かれているが、奈良以外のエリアにおいてもミュージックフェスの認知度を高める広告宣伝を実施してもらいたい。そうすると、奈良に来られる県外の方の比率が高くなるのではないかな。
- ・ 色々なところに色々な告知をするためのツールを作ることが必要。動画配信を検討とのことだが、YouTube等の配信サイトなどもそのひとつ。

【議長】

- ・ ANAには沖縄公演の際にアーティストの移動で随分助けてもらった。海外からの誘客も図るという大きな目標を示唆していただいた気がする。
- ・ 街中が音楽で溢れるという状況を目指して実施していたが、奈良の街では難しかった。今回は、コンベンションセンターを中心に、音楽が溢れる拠点として活用したい。
- ・ コンベンションセンターには関西空港からのバスやぐるっとバスも通っているので、海外などの旅行者も気軽に立ち寄ることができる。旅行者はマリオットホテルに泊まることもできるし、奈

良まちなどで宿泊してコンベンションセンターに戻ってくることもできる。

- ・ 観光の基本はリピーターへの戦略であり、ファンクラブにも繋がるが、広報だけ壮大に実施して中身が伴っていないとガッカリさせてしまい、リピーターが離れてしまうことになる。

【委員】

- ・ 広報戦略において、若年層へのアプローチを新たに行うということだが、インターネット広告によるプロモーションなど、ファンを増やす取組はよいと思う。
- ・ ムジークフェストの参加者は奈良県内の人の割合が多いので、より多くの人々に知ってもらうため、近畿圏の人にも知ってもらえるとよいと思う。
- ・ コンベンションセンターの打ち出し方については、話題性に富んでいるところであるが、コロナ対策の徹底など、安心もひとつのブランドであり、それをアピールしていてもよいのではないか。

【委員】

- ・ コロナ禍においてもイベントを開催していただけるのはありがたい。また、開催の 23 日間、幅広い層にアプローチできる内容となっており、楽しみにしている。
- ・ 現在は、出かけたが出かけるのが不安という人が多いと思う。動画配信はより多くの人に聞いてもらえる仕組みであり、ライブ配信を実施すれば、「今からでも出かければ間に合う」と思い出かける人も出てくると思う。会期中も積極的に PR していただき、「お客様がお客様を呼ぶ」仕組みができれば素晴らしいと思う。
- ・ 電車や駅での広報については、前回並みには協力させていただきたいと考えている。

【委員】

- ・ 住民代表として、ムジークフェストならが盛り上がっていることがうれしい。
- ・ まず、スケジュールについて、来年度は、オリンピックが確実に開催されるものと個人的には考えている。コロナ対策を徹底した上で実施されるものだと思うが、それを考えてもムジークフェストの開催はこの時期以外考えられず、絶妙の時期であると思う。
- ・ 2つめに、動画配信について。今までは、「1つの場所に大勢を集めて、盛り上がり楽しむ」という形であったが、「多極分散型」に変えていかなければならないのではないかと思います。小規模集団をつくって、オンラインでつないでいくなど。
- ・ 動画配信は、リスクコントロールを行いながら、会員限定で実施するのがよいと思う。会員登録においては、どのような人が会員になっているかの情報も得ることができるため、広報に活かすことができる。
- ・ 3つめに、有料公演については、各企業、社会貢献が必要な時代であり、企業のスポンサーを得ながら、スポンサーにもムジークに是非来てもらうというようなことも検討してはどうか。必要であれば伝手もあるので、声がけてほしい。

【議長】

- ・ 小山委員からもファミリー向けの企画についてご提案があったところではあるが、天平広場については、イベントの実施だけでなく、実施期間中は常時テーブルや椅子を設置し、昼から夕方まではファミリー向けのスペースとして、こども食堂などを運営し、前後に遊びの場を設営して、子ども向けの企画や公演を500円で観覧できるようにし、夜はビールなどが飲める大人の時間とするなど、常設のイベント会場としてほしい。

【採決】

- ・ 委員から原案に対する異議は出ず、全員の賛成をもって承認された。

【議長(荒井知事)】

- ・ 次回の実行委員会は12月に予定をしている。事業計画をより詳細にしていき、皆様にお示ししたい。

以上